

令和4年度大阪府委託訓練事業に係る
大阪府公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会 議事要旨

1 日 時

令和4年6月1日（水）・令和4年6月2日（木）

2 場所

各委員への審査資料を持ち回りにて開催

3 対象事業

離職者等再就職訓練（知識等習得コース、企業実習付コース）の追加募集に係る事業者選定

4 選定委員

中島 康之（大阪府社会保険労務士会）

長町 理恵子（追手門学院大学経済学部）

末永 光男（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構大阪支部）

塚本 文彦（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構大阪支部

近畿職業能力開発大学校）

5 審査方法

令和4年度大阪府委託訓練企画提案公募要領記載の審査基準に基づき、4名の選定委員会委員が書類審査を行い、令和4年度大阪府委託訓練事業企画提案公募要領の6の(2)審査基準の配点に基づき採点・評価した。

6 議事概要

令和4年度に実施する大阪府委託訓練の実施事業者（追加募集）を選定するため、企画提案公募を実施し、応募のあった事業者の企画提案についてその内容を選定委員会で評議するとともに、得点の高い順に公募科目に応じて選定した。

7 選考委員発言等要旨

カリキュラム内容、就職支援内容の評価、採点にあたっての考え方等について意見があった。

- ・カリキュラム内容に関して一般論でなく根拠となる文献等に基づき要因分析し、訓練内容をより具体化した提案については評価を高くした。
- ・訓練カリキュラムにおける学科、実技訓練時間の比率を中高年齢者、ひとり親家庭の親などそれぞれの対象者に焦点をあて工夫あるカリキュラムとなれば、より効果的な訓練内容となるのではないか。
- ・中小企業と訓練生のマッチングは訓練校の重要な役割であり、情報資源を訓練生へ提供することは非常に有益である。
- ・面接や説明会をオンラインで実施している企業が多いため、訓練の授業形態（オンライン・対面）を混ぜることは就職支援に繋がり効果のあるものとする。
- ・当該事業は学生に向けた取組みではなく、就職困難者に対する訓練であるという本来の趣旨を踏まえた取組みの提案をお願いしたい。
- ・訓練校の独自の創意工夫ある取組みについては、高く評価した。